

スターシステムズがデータ移行ツール「SkySync」を利用し、
複数のプラットフォームから O365 への高速移行事例を発表

スターシステムズ株式会社(本社:東京都港区 代表:Victor Shvetsky)は、Box、Google Drive、Dropbox などの主要ストレージコネクタを持つデータ移行ツール「SkySync」を使用し、複数のプラットフォームに散在した大容量データを業務停止することなく、短期間で Microsoft 社 Office365 への移行を実現した事例を発表しました。

世界でも上位のシェアを持つ自動車部品メーカーでは、データの運用管理を拠点毎に行ってきた結果、複数のクラウドストレージにデータが散在しておりました。

総データ容量も 900TB 以上になり、データの重複やクラウドストレージ毎に異なるアクセス権限による運用管理が複雑な点、更にコスト削減の観点から Microsoft Office365(以下、MS O365)にデータを統合し、一括管理を行うことを決定します。

同社のプロジェクトチームは当初、このデータ移行に複数の移行ツールを利用したうえで 18 ヶ月掛かることを想定し、移行ツールの選定、検証を開始致しました。

あらゆる移行ツールを検証する中で、SkySync であれば主要ストレージのコネクタを 30 種類以上実装しており、複数のクラウドストレージから MS O365 への移行も SkySync のみで実現可能なことや、更に独自の高速化機能や権限移行機能、フォルダマッピング機能などを利用することで大幅に移行スケジュールの短縮が可能ながことが判明しました。

結果的にこの自動車部品メーカーでは、900TB 以上のデータを当初想定していた 18 ヶ月から約 10 ヶ月で MS O365 に移行完了することが出来、各拠点で運用管理していたクラウドストレージを一括管理することでコストダウンと業務効率の向上を実現致しました。

上記事例のように「SkySync」を利用することで、移行における様々な課題を解決しながら「高速」かつ「安全性」を保ちながらシームレスな移行を実現することが可能となります。

SkySync についての詳細はこちらをご参照下さい。

<https://starsystems.co.jp/ja/skysync/>

【スターシステムズ株式会社について】

スターシステムズは長年において様々な事業者様に対し、クラウド経由でリモートワークが可能なツール導入、移行支援、コンサルタントを行っている日本企業です。早期解決が必要な課題に対してオンプレミス、クラウド双方に精通した専任の日本人技術者が対応し、迅速なデータ移行及びデータ同期をサポート致します。

【SkySync について】

スターシステムズが日本で代理店を務める「SkySync」は米国 Portal Architects 社が開発したデータの同期や移行のコーディングを必要とせずに 実現するシステムです。オンプレミス、クラウド問わず 30 種類以上のコネクタがあり、様々な業種・業態の企業で採用され、世界 3,000 社以上で利用されています。

※記載の製品/サービス名称、社名、ロゴマークなどは、該当する各社・団体の商標または登録商標です。

※製品は、仕様が予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

企業名：スターシステムズ株式会社

TEL：03-5774-4086

Email:sales@starsystems.co.jp



SKYSYNC